

へきなん健康づくり21プラン（第二次） ～健康寿命日本一を目指して～

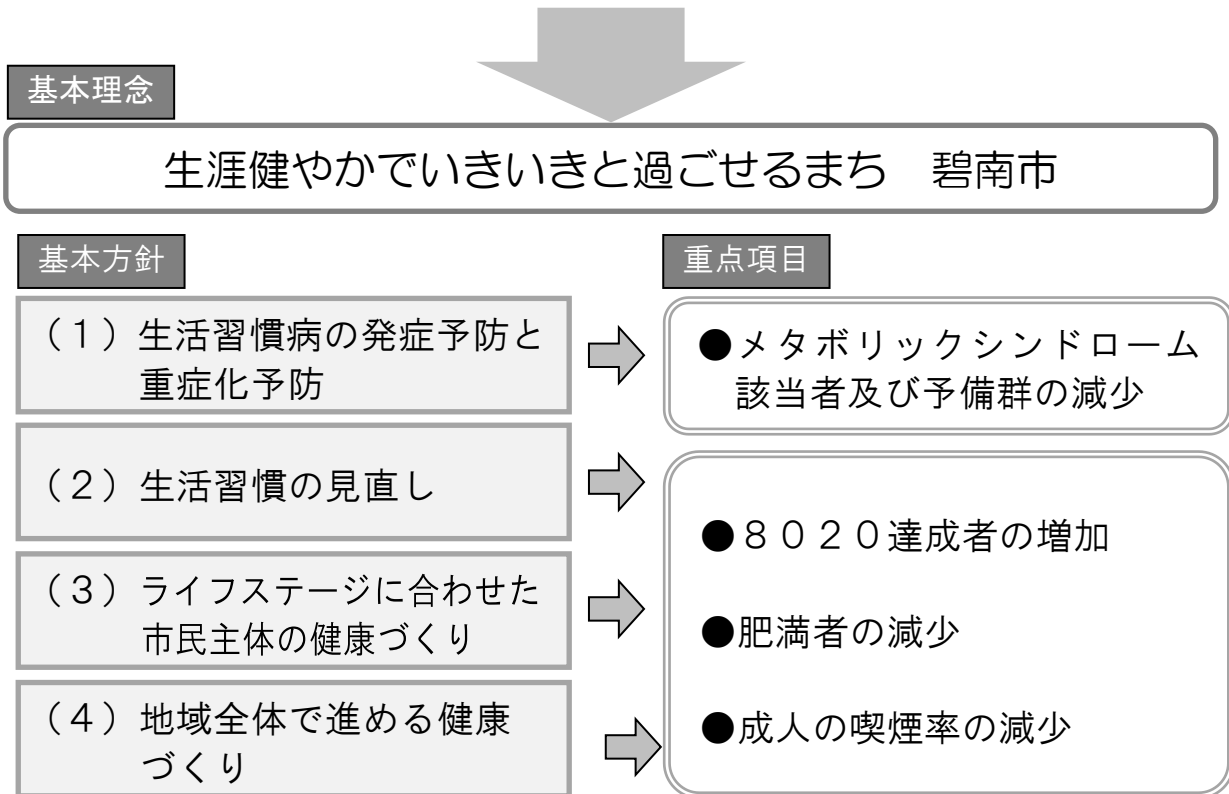
中間評価報告書 **概要版**（案）

1 へきなん健康づくり21プラン（第二次）

本市では、平成26年3月に、市民の健康の増進に関する施策を総合的・計画的に推進するため、平成26年度から令和5年度までの10年間を計画期間とする本計画を策定し、「生涯健やかでいきいきと過ごせるまち 碧南市」の基本理念をもとに、すべての市民が健康でいきいきとした生涯を過ごすことができるよう、市民の健康増進に向けた様々な取組を推進してきました。

■基本方針と重点項目の位置づけ（体系図）

健康寿命の延伸を目指して



2 中間評価

社会情勢の変化とともに、健康づくりを取り巻く環境も変化し続けています。本計画を今後も着実に推進していくために、本計画の中間年度である平成30年度に、既存統計資料やこれまでの取組事業の評価、目標値の進捗状況を把握し、本市の課題を改めて整理し、令和元年度には、本計画の見直しを行いました。

また、本計画の初年度となる平成26年度から中間年度となる平成30年度までの5年間の取組や各分野に掲載した目標値を以下の判定基準に基づき評価しました。

■評価区分と判定基準

評価区分		判定基準
A（達成・概ね達成）		目標達成、または達成率 90%以上
B	B+（改善）	ベースライン値より改善（達成率 50%以上 90%未満）
	B-（やや改善）	ベースライン値より改善（達成率 10%以上 50%未満）
C（変わらない）		ベースライン値から変化がみられない（達成率-10%以上 10%未満）
D（悪化）		ベースライン値より悪化（達成率-10%未満）
E（判定不能）		基準の変更により判定できない

基本方針・分野	目標項目数	指標数	達成状況					
			A	B		C	D	E
				B+	B-			
1. 生活習慣病の発症予防と重症化予防	11	21	1	2	8	0	8	2
(1) 生活習慣病	8	17	0	1	7	0	7	2
(2) COPD（慢性閉塞性肺疾患）	-	-	-	-	-	-	-	-
(3) 歯科疾患	3	4	1	1	1	0	1	0
(4) 精神疾患（うつ病等気分障害）	-	-	-	-	-	-	-	-
2. 生活習慣の見直し	17	30	4	4	4	0	12	6
(1) 栄養・食生活	4	7	1	0	0	0	4	2
(2) 身体活動・運動	1	4	0	0	0	0	0	4
(3) 休養・こころの健康	3	5	1	2	0	0	2	0
(4) 喫煙	3	6	0	1	3	0	2	0
(5) 飲酒	2	3	1	0	0	0	2	0
(6) 歯・口腔の健康	4	5	1	1	1	0	2	0
3. ライフステージに合わせた市民主体の健康づくり	-	-	-	-	-	-	-	-
4. 地域全体で進める健康づくり	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	28	51	5	6	12	0	20	8

3 計画における今後の課題

中間評価の結果、「達成・概ね達成（判定A）」「改善（判定B+）」「やや改善（判定B-）」の計は約半数となるものの、「悪化（判定D）」も多く、計画最終年度（令和5年）に向け、改善すべき課題として捉える必要があります。

これをうけ、本市では、今後、市の現状や社会情勢、また国・県の動向を踏まえるとともに、各基本方針において「メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少」「8020達成者の増加」「肥満者の減少」「成人喫煙率の減少」を重点事項とし、引き続き取組を推進します。

(1) 重点項目について

①メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少

「メタボリックシンドローム該当者＋予備群の該当率」は、減少していますが、特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析・評価（平成28年度）の「メタボリックシンドローム該当者」と「メタボリックシンドローム該当者＋予備群」の割合は男女ともに、愛知県と比較して高い状況にあり、策定時の状況と同様です。

特定健康診査等における生活習慣病の発症予防、重症化予防を医療機関等と連携し、さらに取り組んでいく必要があります。個々に応じた利用しやすい特定保健指導の支援等、健康診査受診後のサポート体制の充実を図ります。

項目	指標	策定時 (平成25年度)	現状値 (平成29年度)	目標値 (令和5年度)	判定
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の人数（該当率：市の人口で推計）	約9,650人 該当率：31.7% (平成20年度)	11,127人 該当率：29.4% (※平成28年度調査)	該当率：23.7%以下	B-

■ 特定健診・特定保健指導情報データを活用した分析・評価（平成28年度）

		碧南市		愛知県	
		男性	女性	男性	女性
メタボリックシンドローム該当者	人数	1,484人	555人	119,793人	39,766人
	割合	25.5%	11.5%	23.1%	8.4%
メタボリックシンドローム予備群	人数	913人	247人	87,251人	24,752人
	割合	15.7%	5.1%	16.8%	5.2%
メタボリックシンドローム該当者＋予備群	人数	2,397人	802人	207,044人	64,518人
	割合	41.2%	16.6%	39.9%	13.5%

②8020達成者の増加

「8020達成者」の割合は、策定時より増加しているものの、目標値には到達していません。引き続き、医療機関・関係機関と連携し、歯を失う原因であるう蝕と歯周病の予防に取り組みます。

項目	指標	策定時 (平成25年度)	現状値 (平成29年度)	目標値 (令和5年度)	判定
8020 達成者の増加	80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合	9.8% (平成24年度)	13.5%	15.0%以上	B+

③肥満者の減少

「40～69歳の肥満者（BMI25以上）」の割合は、男女ともに策定時より増加している状況です。「肥満傾向にある子ども（小学校4年生、肥満度20%以上）」の割合は、策定時より減少し、目標値を達成しています。

引き続き、各ライフステージに合わせた適正体重の維持に向けた取組が必要となります。関係機関と連携し、乳幼児、学童期からの生活習慣病予防対策をすすめます。

項目	指標	策定時 (平成25年度)	現状値 (平成29年度)	目標値 (令和5年度)	判定
肥満者の減少	肥満者の割合 (BMI25以上) (40～69歳)	男性 30.2%	男性 33.5%	男性 25.0%以下	D
		女性 21.0% (平成22年度)	女性 22.5% (※平成28年度調査)	女性 15.0%以下	D
肥満傾向にある子どもの減少	肥満度20%以上の割合 (小学校4年生)	9.5% (平成24年度)	8.28%	9.5%以下	A

④成人の喫煙率の減少

「成人の喫煙率（40歳以上）」の割合は、男女ともに策定時より増加している状況です。喫煙及び受動喫煙が健康に及ぼす影響についての普及啓発を一層推進するとともに、受動喫煙防止対策もすすめます。

項目	指標	策定時 (平成 25 年度)	現状値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 5 年度)	判定
成人の喫煙率 の減少	成人の喫煙率 (40 歳以上)	男性 36.2%	男性 37.1%	男性 28.0%以下	D
		女性 6.0% (平成 22 年度)	女性 6.8% (※平成 28 年度調査)	女性 4.0%以下	D

(2) 計画後半の取組について

①へきなん健康づくり21プラン推進講演会

メタボリックシンドロームの改善、生活習慣病予防につながるような栄養・食生活、身体活動・運動等をテーマにした講演会の開催を継続していきます。



②へきなん健康づくりキャンペーン

健康づくりに多くの市民が関心を持ち、自ら食生活、運動等生活習慣の改善を実践・継続することできるよう、へきなん健康マイレージ事業等の充実を図ります。

③地域ですすめる健康づくり

健康推進員活動との協働イベントの開催等、身近な地域で多世代が参加できる健康づくり事業をすすめます。

4 推進体制

基本理念である「生涯健やかでいきいきと過ごせるまち 碧南市」の実現ができるよう、継続して、本計画の推進に取り組みます。

各ライフステージにおいて、市民が継続して健康づくりに取り組めるよう、本計画は碧南市及び碧南市健康を守る会が中心となり、幅広い関係機関・関係団体等との連携・協働により推進します。

碧南市健康推進部健康課（碧南市保健センター）
 令和2年3月発行
 〒447-0855 碧南市天王町1丁目70番地
 電話 0566-48-3751 FAX 0566-48-2165
 公式ホームページ <http://www.city.hekinan.lg.jp/>